

# 遠近法とは

絵画や作図などにおいて、遠近感を持った表現を行う手法.

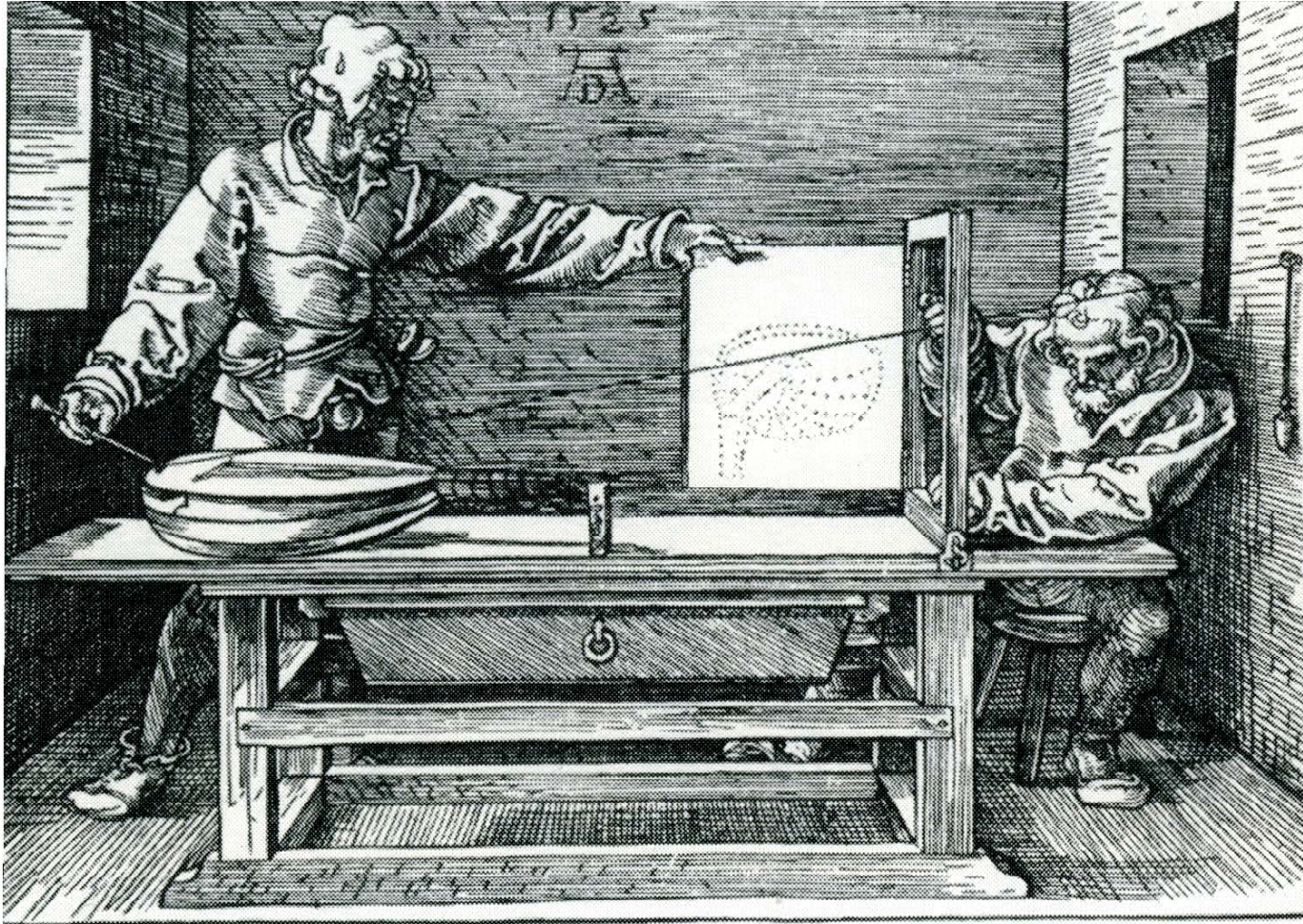
- 空気遠近法または色彩遠近法：遠くのもののほのかすんで見える.
- 線遠近法（[透視図法](#)）：目に映る像を平面に正確に写すための技法.





# 透視図法（透視投影）

3次元の物体を見たとおりに2次元平面に描画するための図法.



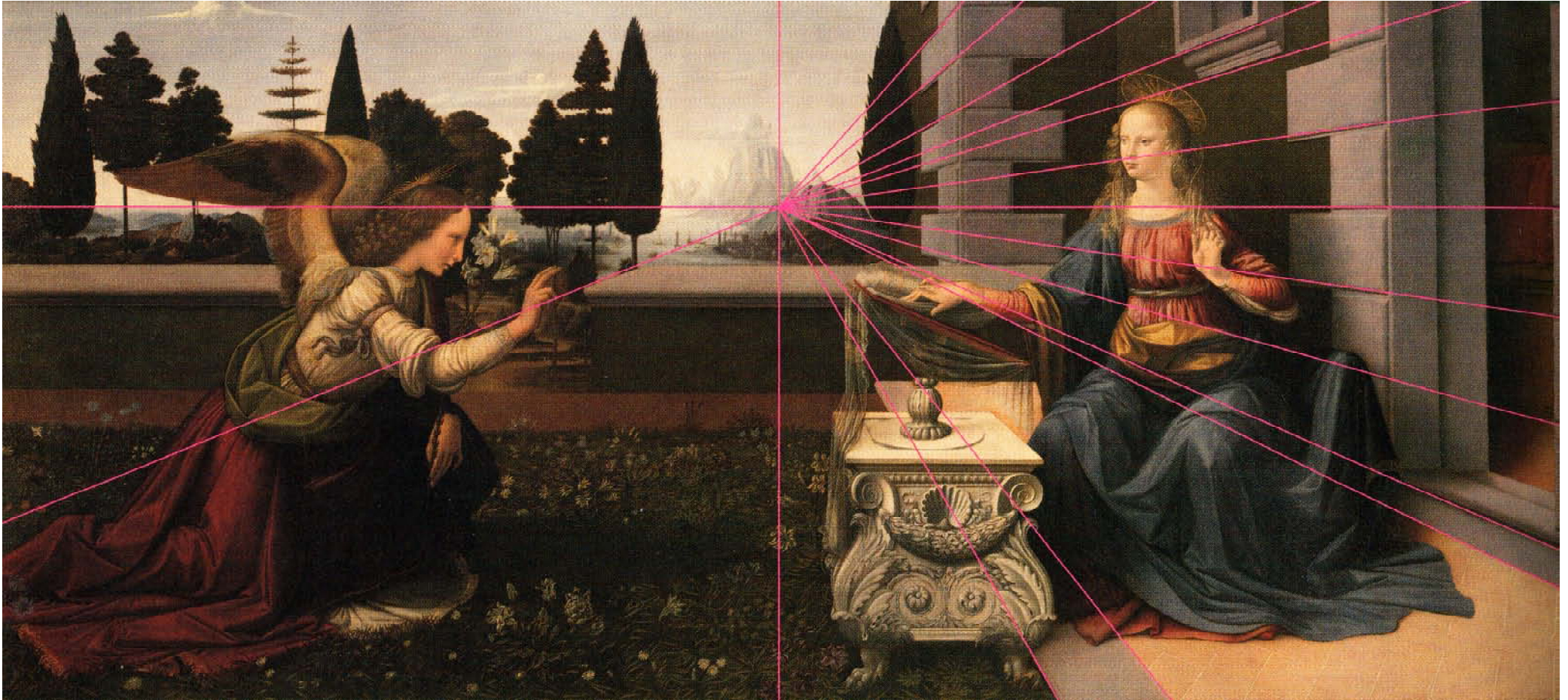
Albrecht Durer の版画

田恭嗣著「数学の隠された能力 デザインの数学」(数研出版) から引用



# 透視図法における消失点

透視図法において平行線はいくつかの点で交わる。この点を消失点という。

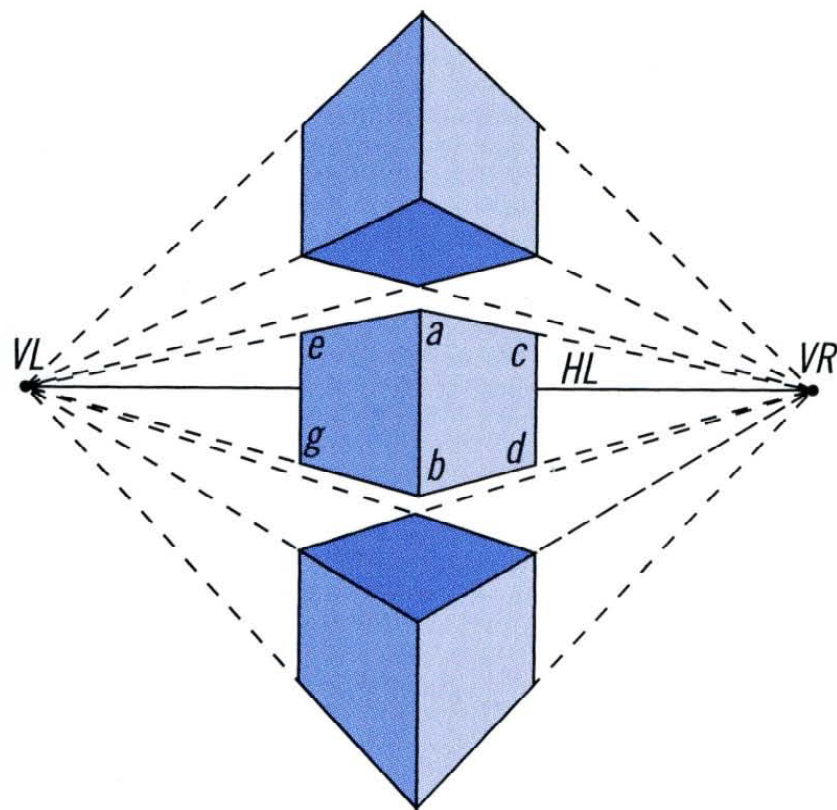


*Annunciation*, Leonardo da Vinci, 1472-73

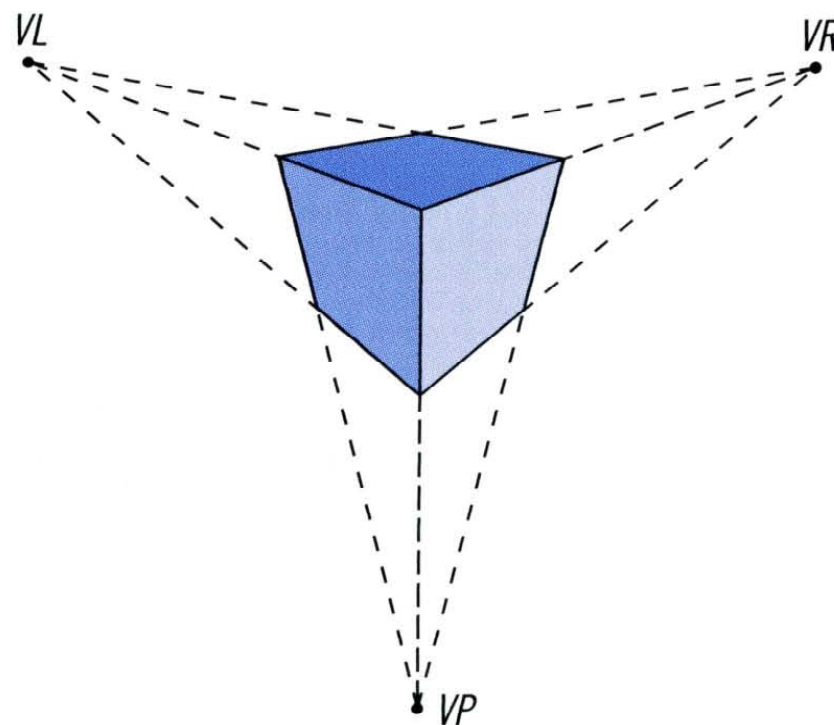
「レオナルド・ダ・ヴィンチ — 天才の実像」から引用

# 透視図法における消失点

物体を見る角度，視点の位置によって消失点の数は異なる。



二点透視図法



三点透視図法

Paul A. Calter “Squaring the Circle – Geometry in Art and Architecture” から引用 (figure 12.8, 12.9)



# 平行投影

視点は無限遠. 平行線は平行線のまま (消失点がない).



遊興風俗図屏風 (部分), 作者不明, 17 世紀

「プライスコレクション『若冲と江戸絵画』展」図録から引用